

(事務局記入欄)

--	--	--	--	--	--	--	--

2020年度 養豚農業実態調査

基本情報

フリガナ		フリガナ		性別	男・女
法人名等		経営者名		生年	大正・昭和・平成・西暦 年
農場所在地	〒 ー 都 道 市 区 府 県 郡 町 村				
連絡先住所 (事務所・自宅等、 上記と別にあれば 記載)	〒 ー 都 道 市 区 府 県 郡 町 村				
電話番号			携帯電話番号		
メールアドレス			FAX番号		
記入者名 (経営者と異なる場合のみ記載)	記入者と経営者との関係	1. 本人 2. 家族：父・母・子・配偶者・その他 () 3. 従業員：役職 () 4. 関連団体 ()			記入者連絡先 (メールアドレス・携帯電話等)
廃業 (廃業の方のみ記入)	1. 廃業する予定はない → Q1へ 2. すでに廃業している } 廃業・予定年月日 西暦 年 月 3. 廃業予定 } 廃業理由：				

アンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

現業の経営状況についてお伺いします

Q1. 現在の経営形態をお知らせください。(○はひとつ)

1. 個人経営 (家族労働主体)
2. 法人経営 (農事組合法人・有限会社・株式会社)
3. 上記以外の法人経営 (具体的に：)
4. 農業協同組合法人 (農協等) の直営養豚場
5. その他 (都道府県、公益法人、学校法人等上記1から4以外)

Q2. 現在、契約・預託農場ですか？ (○はひとつ)

1. 契約・預託農場ではない
2. 契約・預託農場である (会社、農協、民間養豚場等)

Q3. 現在の養豚に従事している方をお知らせください。(〇はいくつでも) またその人数をお知らせください。

- | | | | |
|---------------------------------------|---|----------------------|---|
| 1. 家族労働 (経営主本人、配偶者、子、孫、きょうだい、父母、祖父母等) | → | <input type="text"/> | 人 |
| 2. 常勤雇員 (社員、契約社員、パート、アルバイト) | → | <input type="text"/> | 人 |
| 3. 非常勤雇員 (必要な日、必要な時間で雇用) | → | <input type="text"/> | 人 |
| 4. その他 (豚肉加工・販売など担当) | → | <input type="text"/> | 人 |

該当する人数を記入

Q4. 現在、農場の人員は足りていますか？ (〇はひとつ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 人員は足りている | 2. 人員は足りていない |
|-------------|--------------|

Q5. 後継者についてお知らせください。(〇はひとつ) また後継者や対象者のいる方は年齢をご記入ください。

- | | | | | |
|--------------------------|---|--------|----------------------|---|
| 1. 後継者は決まっている | → | 後継者の年齢 | <input type="text"/> | 歳 |
| 2. 対象者はいるが、現在は決まっていない | → | 対象者の年齢 | <input type="text"/> | 歳 |
| 3. 自分の年齢が若いので考えていない | | | | |
| 4. 後継者はいない・後継者は考えていない | | | | |
| 5. 経営形態が後継者と関係ない (株式会社等) | | | | |

Q6. 経営タイプについてお知らせください。(〇はひとつ)

- | | | |
|-----------------|---|-------------------------------------|
| 1. 肉豚生産 | → | <input type="text" value="Q7^"/> |
| 2. 繁殖経営 | → | <input type="text" value="Q8^"/> |
| 3. 肉豚生産・繁殖経営の両方 | → | <input type="text" value="Q7・Q8^"/> |

Q7. 肉豚生産について該当する箇所に農場数をご記入ください。

経営タイプ	農場形態	飼養形態	飼養豚	所有農場数	他都道府県にある農場数	
肉豚生産	1. 一般生産農場			ヶ所	ヶ所	
	一貫経営	2. マルチサイト経営	1. 繁殖	純粋種豚 ①	ヶ所	ヶ所
				純粋種豚+子取り用雌豚 (PS) ②	ヶ所	ヶ所
				子取り用雌豚 (PS) ③	ヶ所	ヶ所
		2. 肥育	子豚 ①	ヶ所	ヶ所	
			肥育豚 ②	ヶ所	ヶ所	
	3. 肥育		ヶ所	ヶ所		

Q8. 繁殖経営について該当する箇所に農場数をご記入ください。

経営タイプ	農場形態	飼養形態	飼養豚	所有農場数	他都道府県にある農場数
繁殖経営	繁殖		純粋種豚 ①	ヶ所	ヶ所
			純粋種豚+子取り用雌豚 (PS) ②	ヶ所	ヶ所
			子取り用雌豚 (PS) ③	ヶ所	ヶ所

Q9. 飼養している品種・頭数についてお知らせください。(該当する箇所に頭数等記入)

2020年8月1日現在の頭数を記入

品種	ランドレース (L)	大ヨークシャー (W)	中ヨークシャー (Y)	パークシャー (B)	デュロック (D)	多産系 (TOPIGS/ダンブレッド等)	その他	計
	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	
純粋種	♀頭数 (子取り用雌豚)	頭	頭	頭	頭	頭	品種: 頭数:	① 頭
	♂頭数 (種雄豚)	頭	頭	頭	頭	頭	品種: 頭数:	② 頭
品種	LW	WL	LW.WL 何れか	DB	BD	その他の組み合わせ	海外ハイブリッド (ハイボ-ケンボロ-等)	計
交雑種	♀頭数 (子取り用雌豚)	頭	頭	頭	頭	頭	組み合わせ: 品種: 頭数:	③ 頭
	♂頭数 (種雄豚)	頭	頭	頭	頭	頭	組み合わせ: 品種: 頭数:	④ 頭
育成豚(繁殖利用予定で未交配(雌、雄)のもの)								⑤ 頭
子豚(子豚舎、子豚豚房で飼養しているもの+哺乳中のもの)								⑥ 頭
肥育豚(肥育舎、肥育豚房で飼養しているもの)								⑦ 頭
飼養頭数合計(①~⑦の合計)								頭

飼養頭数・出荷頭数等についてお伺いします

Q10. 導入・出荷頭数についてお知らせください。(該当する箇所に頭数を記入)

令和元年度の決算期間の総計を記入

純粋種豚導入頭数	→	頭	種豚候補豚(純粋種・F1等)の販売頭数	→	頭
子取り用雌豚(PS)導入頭数	→	頭	年間肉用子豚出荷頭数(販売)	→	頭
肥育豚導入頭数	→	頭	繁殖豚(雄、雌)年間廃用頭数	→	頭
年間肉豚出荷頭数	→	頭			

Q11. 繁殖成績についてお知らせください。

令和元年度の決算期間の総計を記入

年間種付け頭数(1年間に種付けした母豚の全頭数)	→	頭
年間総分娩頭数(1年間に分娩した母豚の全頭数)	→	頭
母豚回転数(1母豚あたりの年間平均分娩回数)	→	頭
1腹当たり平均産子数(分娩頭数)	→	頭
1腹当たり平均哺乳開始頭数	→	頭
1腹当たり平均離乳頭数	→	頭
年間離乳後事故率(事故頭数÷離乳頭数×100)	→	%

Q12. 肉豚出荷日数、出荷体重、枝肉重量についてお知らせください。

令和元年度の決算期間の総計を記入

肉豚出荷日齢平均（生後日齢）	→	<input type="text"/>	日齢
年間肉豚総出荷生体重（1年間に出荷した肉豚の総体重）	→	<input type="text"/>	kg
年間総枝肉重量（1年間に出荷した枝肉の総重量）	→	<input type="text"/>	kg

Q13. 肉豚の格付け方法についてお知らせください。（○はいくつでも）

1. 日格協の格付	→	<input type="text"/>	頭
2. 日格協の格付以外（パッカー・ブランド化・協議会などの自主的な格付）	→	<input type="text"/>	頭
3. 格付していない（生体販売など） 【格付していない理由下記に】			
4. 格付け方法を把握していない			

Q14. 格付していない理由をお知らせください。

具体的な理由：

Q15. 年間上物率、年間枝肉歩留まり率について教えてください。

年間上物率（格付している豚） % 枝肉歩留まり率 %

Q16. 相対取引の実施状況についてお知らせください。（○はひとつ）

1. 相対取引を実施している	→	契約枝肉重量： 最低重量 <input type="text"/> kg ~ 最高重量 <input type="text"/> kg
2. 相対取引を実施していない		

家畜共済の加入状況と希望する家畜共済についてお伺いします

Q17. 共済加入の有無をお知らせください。（○はひとつ）また、加入されていない方には理由と望ましい共済をお知らせください。

1. 農業共済に加入している	→	Q19. どのような共済が望ましいですか？（○はいくつでも）
2. 農業共済に加入していない	→	Q18. 加入していない理由をお知らせください。（○はいくつでも）

Q18. 加入していない理由をお知らせください。（○はいくつでも）

1. 共済掛金が高い
2. 加入方法がわかりにくい
3. 掛金に対して支払額が見合わない
4. その他（具体的に： <input type="text"/> ）

Q19. どのような共済が望ましいですか？（○はいくつでも）

1. 加入方法、支払額のわかりやすさ
2. 共済掛金を低くする
3. 哺乳子豚を共済対象に含める
4. 補償期間の延長
5. その他（具体的に： <input type="text"/> ）

交配方法とAIについてお伺いします

Q20. 交配の方法についてお知らせください。(○はひとつ)

<ol style="list-style-type: none">1. 自然交配のみ2. 人工授精のみ3. 自然交配+人工授精の併用	→	<ol style="list-style-type: none">1. 自然交配 1 回のみ2. 自然交配 2 回3. 自然交配 3 回	→	Q23へ
	→	<ol style="list-style-type: none">1. 人工授精 1 回のみ2. 人工授精 2 回3. 人工授精 3 回		
	→	<ol style="list-style-type: none">1. 自然交配 1 回+人工授精 1 回2. 自然交配 1 回+人工授精 2 回3. 自然交配 2 回+人工授精 1 回		

右記の回数に当てはまらない場合はご記入ください。

具体的に：

Q21. 【Q20で人工授精をしている方へ】人工授精における深部注入の実施についてお知らせください。(○はひとつ)

<ol style="list-style-type: none">1. 全て深部注入で行っている2. 深部注入と普通の人工授精を併用している3. 深部注入は行っていない4. 深部注入は行っていないが、今後検討したい

Q22. 【Q20で人工授精をしている方へ】人工授精における精液の入手方法についてお知らせください。(○はひとつ)

<ol style="list-style-type: none">1. すべて自家採精2. すべて外部（公的試験場・AIセンター）導入3. 自家採精と外部導入を併用

飼料についてお伺いします

Q23. 飼料の給与形態についてお知らせください。(○はひとつ)

1. 市販配合飼料のみ (配合割合等を指定してメーカーに配合させたものを含む)
2. 市販配合飼料 + 自家配合飼料
3. 自家配合飼料のみ (丸粒トウモロコシ単味飼料やエコフィード等の飼料原料を調達して自ら配合・調整したもの)

Q24. 現在使用している飼料をお知らせください。(○はいくつでも) また、使用飼料の年間使用量をご記入ください。

令和元年度の決算期間の総計を記入

配合飼料	1. 配合飼料	→	<input style="width: 50px;" type="text"/>	t	
	2. エコフィード利用配合飼料	→	<input style="width: 50px;" type="text"/>	t	→ うちエコフィードの配合割合 <input style="width: 50px;" type="text"/> %
	3. 飼料用米利用配合飼料	→	<input style="width: 50px;" type="text"/>	t	→ うち飼料用米の配合割合 <input style="width: 50px;" type="text"/> %
単味飼料	4. 飼料用米	→	<input style="width: 50px;" type="text"/>	t	飼料内容を記入 飼料名: <input style="width: 100px;" type="text"/> t 飼料名: <input style="width: 100px;" type="text"/> t 飼料名: <input style="width: 100px;" type="text"/> t 飼料名: <input style="width: 100px;" type="text"/> t
	5. 国産子実用トウモロコシ	→	<input style="width: 50px;" type="text"/>	t	
	6. エコフィード*	→	<input style="width: 50px;" type="text"/>	t	
	7. 食品残さ**	→	<input style="width: 50px;" type="text"/>	t	
	8. その他の単味飼料	→	<input style="width: 50px;" type="text"/>	t	

【記入上の注意】

- * エコフィードは、食品工場から排出される食品製造副産物 (パン屑、とうふ粕等)、スーパーやコンビニ等から排出される余剰食品 (賞味期限切れ弁当等)、飲食店等から排出される調理残さ (カット野菜屑等)、農場残さ (規格外野菜等) を原料として、加熱乾燥、発酵、液化化 (リキッド) 等の加工処理により飼料化したものです。
 - ** 食品残さ (厨芥残さ) は、家庭や食堂等から出た食べ残し等を回収し、飼料として活用しているものを指しています。
 - ※米ぬか、ふすま、油かす、ビートパルプを使用している場合には「その他」に記入願います。
 - ※M A米を使用している場合には、「その他」に記入願います。
- 3と4の方はQ25へ
それ以外の方はQ32へ

Q25. 【飼料用米を利用している方へ】飼料用米の今後の利用意向についてお知らせください。(○はひとつ)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 飼料用米の利用を継続・拡大したい (新規利用希望含む) 2. 飼料用米の利用を減らすか中止したい (利用予定がない場合を含む) 	→	希望数量		t/年
---	---	------	--	-----

Q26. 【飼料用米を利用している方へ】飼料用米の利用についてお知らせください。(○はひとつ)

1. 飼料用米を玄米で使用している
2. 飼料用米を玄米で使用していない (給与形態: もみ・白米・その他 ())

Q27. 【飼料用米を利用している方へ】飼料用米の買取価格についてお知らせください。

飼料用米の買取価格	西暦	年	月	時点		円/kg
-----------	----	---	---	----	--	------

Q28. 【飼料用米を利用している方へ】飼料用米の加工についてお知らせください。(○はひとつ)

1. 飼料用米は自社で加工している	→	Q30へ
2. 飼料用米は自社で加工していない		

Q29. 【飼料用米を利用している方へ】飼料用米の加工委託・価格についてお知らせください。(○はひとつ)

1. 加工費を買い取り価格に含む	→	加工費：	<input type="text"/>	円/kg
2. 加工費を買い取り価格に含まない	→	加工費：	<input type="text"/>	円/kg

Q30. 【飼料用米を利用している方へ】飼料用米の仕入れ先をお知らせください。

飼料用米の仕入れ先 都道府県名 ()

Q31. 【飼料用米を利用している方へ】飼料用米の輸送について、買取価格に含むか？輸送費の負担についてお伺いします。(各○はひとつ)

1. 輸送費を負担している	→	輸送費：	<input type="text"/>	円/kg
2. 飼料用米の輸送費を、負担していない				

Q32. エコフィードについてお知らせください。(○はいくつでも)

※2021年からの飼養衛生管理基準の施行を見据えた回答をお願いします。

1. エコフィードを加熱し、リキッド（液状）にして給与している	}	→	Q33へ
2. エコフィードを加熱し、ドライ（乾燥状態）にして給与している			
3. 加熱の必要のないエコフィードを集め、リキッド（液状）にして給与している。			
4. エコフィードを含む配合飼料として給与している			
5. 厨芥残さ(家庭や食堂等から出た食べ残し)等を加熱し給与している			
6. 厨芥残さ(家庭や食堂等から出た食べ残し)等をそのまま給与している			
7. エコフィードを利用していないが、利用を検討中・利用してみたい	}	→	Q34へ
8. エコフィードを利用しているが、今後利用しないことを検討している			
9. エコフィード利用の予定はない	}	→	Q35へ

Q33. 【Q32で1～6と回答した方へ】エコフィードの入手先についてお知らせください。(○はひとつ)

1. 自家配合（原料を購入・回収し、自ら加工処理を行う）	→	製造コスト	リキッド	<input type="text"/>	円/kg	
			乾燥	<input type="text"/>	円/kg	
	2. エコフィード製造事業者等から購入	→	購入価格 (輸送費を含む)	リキッド	<input type="text"/>	円/kg
				乾燥	<input type="text"/>	円/kg

Q34. 【Q32で7と回答した方へ】エコフィードを利用するに当たり、課題となっていることをお知らせください。(○はいくつでも)

1. エコフィード又はエコフィード原料の安定確保が難しい	4. 製造施設や機器の導入に課題がある
2. エコフィードの原料の排出事業者が近隣にない	5. その他 ()
3. エコフィードの飼料設計等調整技術に課題がある	

経営動向についてお伺いします

Q35. 飼養頭数動向についてお伺いします。

①母豚（子取り用雌豚）の増減について

母豚の増減をお知らせください。（○はひとつ、また増減の頭数をご記入ください。）

- 1. 母豚を増やした（増やした頭数 頭）
- 2. 変わらない
- 3. 母豚を減らした（減らした頭数 頭）
- 4. 母豚を飼育していない（該当しない）

Q36. 母豚増頭の理由について。（○はいくつでも）

- 1. 後継者が経営に参加したため
- 2. 繁殖成績が低下し、出荷頭数を維持するため
- 3. 収益をアップするため
- 4. 近隣に土地を購入できたため
- 5. 出荷先から増頭の依頼があったため
- 6. 養豚農家減少を見越した投資
- 7. 事情があって減頭していたのを戻した
- 8. その他（具体的に： ）

Q37. 母豚減頭の理由について。（○はいくつでも）

- 1. 疾病対策などで一時的に減頭している
- 2. 母豚1頭当たりの繁殖成績が向上した
- 3. （飼料など）コスト高騰で規模を縮小した
- 4. 老齢化で労働が厳しい
- 5. 従業員等労働力が確保できない
- 6. 廃業予定
- 7. 委託・預託農場になるため
- 8. 環境対策のため
- 9. その他（具体的に： ）

②肥育豚の増減について

Q38. 肥育豚の増減をお知らせください。（○はひとつ、また増減の頭数をご記入ください。）

- 1. 肥育豚を増やした（増やした頭数 頭）
- 2. 変わらない
- 3. 肥育豚を減らした（減らした頭数 頭）
- 4. 肥育豚を飼育していない（該当しない）

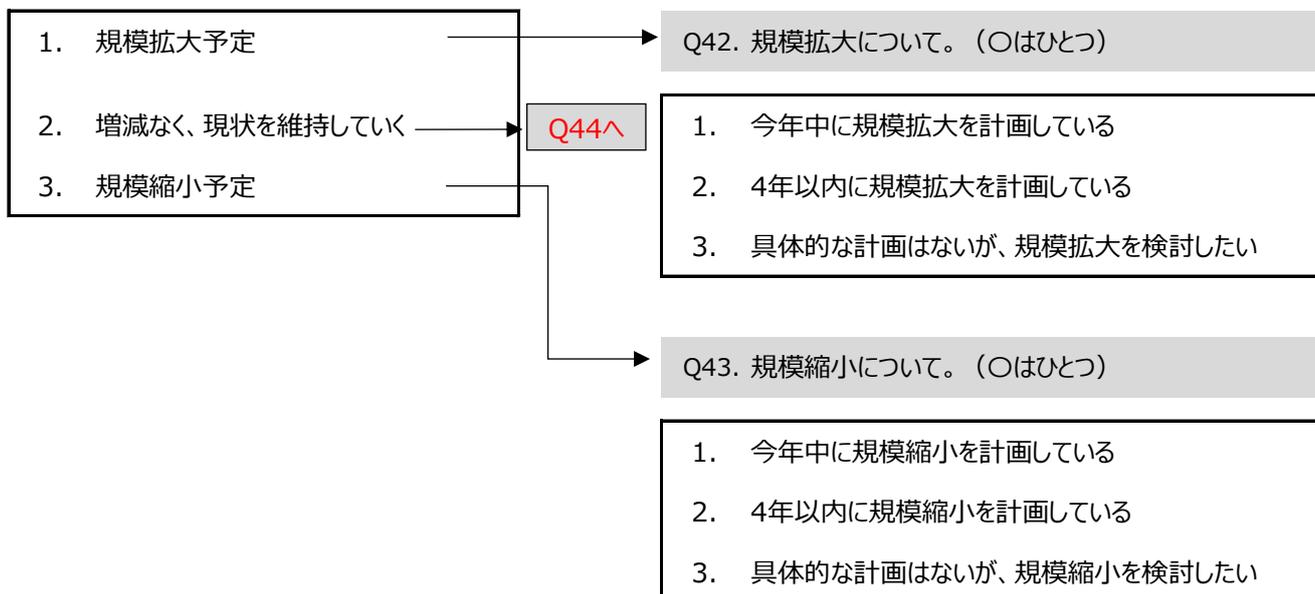
Q39. 肥育豚増頭の理由について。（○はいくつでも）

- 1. 後継者が経営に参加したため
- 2. 繁殖成績が低下し、出荷頭数を維持するため
- 3. 収益をアップするため
- 4. 近隣に土地を購入できたため
- 5. 出荷先から増頭の依頼があったため
- 6. 養豚農家減少を見越した投資
- 7. 事情があって減頭していたのを戻した
- 8. その他（具体的に： ）

Q40. 肥育豚減頭の理由について。（○はいくつでも）

- 1. 疾病対策などで一時的に減頭している
- 2. 母豚1頭当たりの繁殖成績が向上した
- 3. （飼料など）コスト高騰で規模を縮小した
- 4. 老齢化で労働が厳しい
- 5. 従業員等労働力が確保できない
- 6. 廃業予定
- 7. 委託・預託農場になるため
- 8. 環境対策のため
- 9. その他（具体的に： ）

Q41. 今後の経営動向についてお知らせください。(〇はひとつ)



衛生管理についてお伺いします

Q44. 飼養衛生管理基準の改正についてお知らせください。(〇はひとつ)

1. 飼養衛生管理基準が改正されたことを知っている
2. 飼養衛生管理基準が改正されたことを知らない

Q45. 飼養衛生管理基準の改正内容の認知についてお知らせください。(〇はひとつ)

1. 改正内容を十分に理解している
2. 改正内容はなんとなく分かる
3. 改正内容が分からない

Q46. 飼養衛生管理基準の改正内容の対応についてお知らせください。(〇はひとつ)

1. 改正内容は自農場で対応できる・対応が完了した
2. 改正内容を元に対応中・対応予定である
3. 改正内容は対応できない

Q47. 実施している衛生管理方法についてお知らせください。（〇はいくつでも）

1. 入退場車両の消毒を行っている	13. シャワーイン・シャワーアウトを行っている
2. 訪問者の台帳を作成している	14. 農場に入る際は、専用の作業着に着替える
3. 農場周囲を柵等で囲っている	15. 豚舎ごとに長靴と衣服を変えている
4. 畜舎、堆肥者等に防鳥ネットを設置している	16. 長靴の靴底の洗浄・消毒を行っている
5. 害虫・害獣対策を行っている	17. 豚舎出入り口に踏み込み消毒槽を設置している
6. 衛生管理区域を設けゾーニングをしている	18. 手指の洗浄・消毒をしている
7. 畜舎周辺、農場外縁部に石灰を散布している	19. 飲用水等を消毒している
8. 豚舎間で人や資材が交差しないようにしている	20. 分娩→離乳→肥育のように、衛生レベルの順に管理している
9. 従業員の担当部署を決め、ほかの豚舎には立ち入らない	21. 豚を豚舎間で移動する際はケージやリフトを用いている
10. 衛生管理責任者を置いている	22. 死亡豚はレンダリング処理をしている
11. かかりつけ獣医師、管理獣医師を決めている	23. オールイン・オールアウトを実施している（全部）
12. ダウンタイム [※] を設けている（具体的に： 時間）	24. オールイン・オールアウトを実施している（一部）

※ダウンタイムとは、畜産関係者と会合があった後・他農場へ立ち上がった後などに、自農場に入るまでに設ける待機時間を指します。

環境対策についてお伺いします

Q48. 水質汚濁防止法の特定施設の届け出をしていますか？（〇はひとつ）

1. 届け出をしている
2. 届け出をしていない（不要である）

Q49. 年1回以上、水質検査をしていますか？（〇はひとつ）

1. 年1回以上、水質検査をしている
2. 年1回以上、水質検査をしていない

Q50. 水質検査値（1年間に複数回測定している場合は、そのうちの最大値及びその測定月を記入）をお知らせください。

硝酸性窒素等 ^{※1} （暫定排水基準500mg/L、適用期限：2022年6月）	西暦	年	月	実施	mg/L
全窒素 ^{※2} （暫定排水基準：130mg/L、適用期限：2023年9月）	西暦	年	月	実施	mg/L
全リン ^{※2} （暫定排水基準：22mg/L、適用期限：2023年9月）	西暦	年	月	実施	mg/L

※1 アンモニア、アンモニア化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物（アンモニア性窒素×0.4、亜硝酸性窒素、硝酸性窒素の合計量）

※2 全窒素及び全リンについては、規制対象地域外の場合は、記入不要です。

※3 暫定排水基準は、段階的に引き下げられています。将来的には一般排水基準となる可能性があります。その可能性を念頭においた施設の整備・管理が必要です。

※4 一般排水基準（硝酸性窒素等：100mg/L、全窒素：120mg/L、全リン：16mg/L）

豚熱ワクチンについてお伺いします

Q59. 豚熱ワクチンの接種状況についてお知らせください。(〇はひとつ)

1. 接種している → 現在の接種価格 円/頭

2. 接種していない

Q60. 豚熱ワクチンの接種価格について (〇はひとつ)

1. 妥当
2. 高い
3. 安い
4. その他 ()

Q61. 豚熱ワクチンの接種について (〇はひとつ)

1. 接種範囲に指定されればしたい
2. 接種範囲に指定されなくてもしたい
3. 接種したくない

Q62. 地域別豚熱ワクチン接種により受けた影響をお知らせください。(〇はいくつでも)

1. 肉豚出荷に影響があった
2. 子豚販売に影響があった
3. 種豚販売に影響があった
4. 精液販売に影響があった
5. 種豚購入に影響があった
6. 精液購入に影響があった
7. 肥育素豚購入に影響があった
8. 県をまたぐ自社内での農場移動(繁殖農場→肥育農場等)に影響があった
9. その他 ()

Q63. 豚熱ワクチンの接種に対する考え方をお知らせください。(〇はひとつ)

1. 現在の接種地域の指定条件に合致する県だけ接種すれば良い
2. 全国で接種すべきである

最後に、ご意見・ご要望などおきかせください

Q64. ご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にご記入ください。

アンケートは終了です。ご回答ありがとうございました。